

酒類ガイドライン遵守推進本部だより



平成 22 年 9 月 17 日

全国卸売酒販組合中央会
酒類ガイドライン遵守推進本部

「あとから来る者のために」

委員 福井 誠 司

「あとから来る者のために」・・・・・・・・坂村 臣民

あとから来る者のために
田畑を耕し
種を用意しておくのだ
山を
川を
海を
きれいにしておくのだ
ああ
あとから来る者のために
苦勞をし
我慢をし
みなそれぞれの力を傾けるのだ
あとからあとから続いてくる
あの可愛い者たちのために
みなそれぞれ自分にできる
なにかをしてゆくのだ

昨年、知人の会社の研修会において上の詩に出会った。今私達が生活している社会、生きている時代は、私達が作ったものではない。父母そして祖父母を初めとする先人が智恵と汗を絞り、一生懸命仕事をし、築いてきた社会であり拓いてきた時代である。父母、祖父母は私達あとから来る者のために努力をしてきたのである。私達も今、あとから来る者のために仕事をしなければならない。しかし、様々な価値観の変化と人口減少というかつてない社会の転換期にあたり、“あとから来るもの”がより良き生活を実現し、良き時代を生きていくことができるよう、しっかりとした未来図を描き、高く・広く・長く・深き戦略と、皆が納得し皆が参加する戦術を持って、新たな社会を作る必要がある。

そして、同様に私達が属する酒類業界においても監督省庁である国税当局とメーカー・卸・小売・飲食そして消費者の6者が一体となってアルコール飲料の存在価値とその流通・消費の在り方について、“あとから来るもの”より良き酒をより良き姿で楽しめる大いなる未来図を描く事が、今必要なのであると考える。

私達は今混沌とした状況にあり、目の前の事ばかりの対応で右往左往している。今こそ“あとから来るもの”の為に、明確な道筋を描き各々が自立し歩いていけるような業界を作る取り組みを始めたい。

○ 平成 22 年 8 月ビール及び発泡酒等の出荷状況

(単位:kℓ・%)

期間 区分	8 月			1 ~ 8 月		
	当月数量	前年数量	前年比	本年数量	前年数量	前年比
ビール	287,431	287,207	100.1	1,876,438	1,951,666	96.1
発泡酒	86,207	100,138	86.1	655,768	809,361	81.0
新ジャンル	165,675	153,343	108.0	1,231,649	1,114,597	110.5
計	539,313	540,688	99.7	3,763,855	3,875,624	97.1